



# 今富っ子(いまとみっこ)

小浜市立今富小学校 令和8年5月25日<NO.2>

今富小学校

検索



すべての人が「幸せ」を感じられる学校を目指して

校長 古跡 修聡

ここ数日、急激に暑くなりました。春があっという間に終わり、初夏？いや「夏」と言っていよいよな毎日が続いています。早いもので、まもなく5月も終わりを迎えようとしています。学校では、体育大会に向けた準備が熱を帯びてきており、6年生の一輪車パレードや各学年種目の練習をする姿や、応援合戦の大きな声が校舎の内外で響いています。今年の体育大会スローガンは「助心笑楽(じょしんしょうらく)」(くわしくはHPをご覧ください。)4つの願いを大切に、自分たちの手で、素晴らしい大会を創り上げていってくださることを楽しみにしています。

さて、前回「今富っ子」では、子どもたちに話した1年の願いについてご紹介しました。今回は、その続きのお話です。4月28日の全校朝礼で、今富小学校に通う375人すべてが「幸せ」と感じる学校にするために大切にしたい2つのことについて話をしました。

令和8年度 学校教育目標

すすんでかかわり 生き生きとりくむ今富っ子

～この仲間のために この仲間とともに～

今年、サブテーマをつけました。自分自身のこれまでの人生を振り返った時に、一番力を発揮できたのは「仲間」のために動いた時だったと感じています。自分のためにと行動したときは、たいてい途中で嫌になったりあきらめたり…。試験勉強、入試、ダイエット…。しかし、「仲間」のために行動した時は、途中で投げ出さずに頑張れたと思うのです。その中で、誰かの役に立つ喜びを知り、自分の良さを生かす方法を見つけ、自分のことを少しだけ「やるやん。」と思えたと思うのです。これらの積み重ねが、「自信」や「エネルギー」となり、また次のことを頑張れた。そうやって成長してきたのではないかと感じています。今年、一番身近な集団である「学級」に焦点を絞り、自分1人の成長に満足するのではなく、「仲間と一緒に成長する、仲間のために成長する」そんな学級をつくってほしいと願っています。それが、「幸せ」を感じる学校を実現するための1つ目のキーワードです。

その学級での「仲間」づくりを進めるにあたって、大切にしたい2つ目のキーワードは、

「みんなと聞く・みんなで聴く・みんなに訊く」

今年、子どもたちが1日の中で最も長い時間過ごす「授業」を通して、仲間との絆づくりを進めます。その第1歩が、「きく」ことだと考えています。「きく」ことは、相手の存在を認めること、相手を理解しようとする、つまり、相手を大切にすることだと思います。もちろん、意見の相違はあって当たり前です。だからこそ、頭と心を使って「聴き」、もっとききたいと思うことを「訊く」。そうやって、互いの理解を深めていくことで、絆はつくられていくのだと思います。「きいてくれる仲間がいる。」1人1人がそう思えたら…きっと、「幸せ」を感じられるのではないかと思います。

この2つのキーワードを、子どもたちも教職員も、みんなで大切に、全ての人々が「幸せ」を感じる学校を目指していきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き温かいご支援、ご声援をお願いいたします。

## 6月の主な予定

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 2 (火) 全校朝礼 (校長先生の話)            | 15 (月) 水泳学習開始予定         |
| 3 (水) プール清掃 (6年)               | 16 (火) 全校朝礼             |
| 4 (木) 内科検診 (高学年)               | 17 (水) 特別支援学級合同学習会      |
| 6 (土) 資源回収 (伏原区以外)             | 18 (木) クラブ              |
| 11 (木) 委員会                     | 19 (金) 26 (金) 南川学習 (4年) |
| 12 (金) 民生児童委員会 15:10 下校 (3~6年) | 25 (木) 地域・学校協議会、委員会     |

## 初めての児童総会が開かれました。



5月8日(金)5時間目、本校初めての「児童総会」が開催されました。4年生以上が体育館に集い、それぞれの委員会が「どんな学校にしたいか」という思いを込めた取り組みを提案しました。発表を聞いた児童からは、「もっとこんなことをしてほしい」や「この活動をどう続けるか」など、活発な質問や提案が飛び交い、会場全体が児童の熱気に包まれました。

総会後の感想からは、「自分たちで学校をつくっていく」という思いが感じられました。今富小学校の子どもたちが、仲間と力を合わせ、さらに輝く学校生活を築いていくことを、教職員一同、見守り、支えてまいります。保護者・地域の皆様も、ぜひ子どもたちの取り組みへのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。以下、感想です。

- ・このような場ができたことで、みんなが意見を言いやすくなりました。分からないことを聞けるし、いい場所だと思いました。学校を変えるための意見がたくさん出てきたことがいいと思います。活動の参考にしようと思いました。学校をみんなで変えることで、みんなが納得のいく学校になると思います。これからも続けてほしいです。
- ・全員が、集中して聞いたり、発表していたりしたので、いい雰囲気だと思いました。自分はこういうことを初めてやったことで、本気で学校を変えていきたいと思いました。
- ・今日の児童総会でみんなの意見を聞いたことで、みんなも思っていることがたくさんあると分かったから、そのためにも学校をかえていきたいと思いました。総会をする前は、みんな学校に対して何にも思っていないのかなと思っていたけど、今日、出てきたたくさんの意見を聞いて、やっぱり思っていることはあるのだと思いました。最後まで、提案や質問が途切れなかったのも、「どれだけ問題があるんやろ。」って気もしたけど、変えていくためには、一つ一つの意見が大切なので、たくさん出てきてよかったです。緊張しました。でも、緊張するほど、みんな真剣な雰囲気を取り組めたしよこなので、とってもよかったです。
- ・僕も考えたこともない意見が次々と提案されていて、みんなすごくよく考えているんだなと思いました。初めて児童総会があって、話し合う場ができて、僕は、学校がもっとすごくなると感じました。
- ・学校を変えていきたいと思いました。初めてこういう場に立って、緊張したけど頑張って発表してみよう！！と頑張りました。言い終わった後、自分の意見も大切にしていこうと感じました。

## 教員よりひとこと 好きを大切に

上原 千侑

5月の連休、推し活で初めて仙台を訪れました。伊達政宗や滝、夜行バスのルートなど初めて知ることが多く、ずんだ餅のおいしさも格別でした。仙台市科学館では科学を使った展示や鳥の進化についての特別展を楽しみ、夏の宇宙展も気になりました。小学生の時、直観で行きたいと思って出かけたオーストラリアホームステイや推し活での福岡訪問など、「好き」を起点にした行動がいつも新しい出会いや発見をもたらしてくれました。好きなこと、やってみたい、知りたい、行ってみたいという直感を大切にしながら、これからも挑戦を続けたいと思います。そこで得た感動や発見を学びにもつなげ、好きなことで貯めたパワーを苦手なことへの原動力にしていきます。

「今富っ子」に関するご感想、ご意見はこちらまで

<https://forms.gle/DZXZ7k5iS82f6SQe7>

